1995 年 8 月 10 日第 3 種郵便物認可（毎週 1 回水曜日発行）
2024 年 10 月 29 日　増刊通巻 9122 号

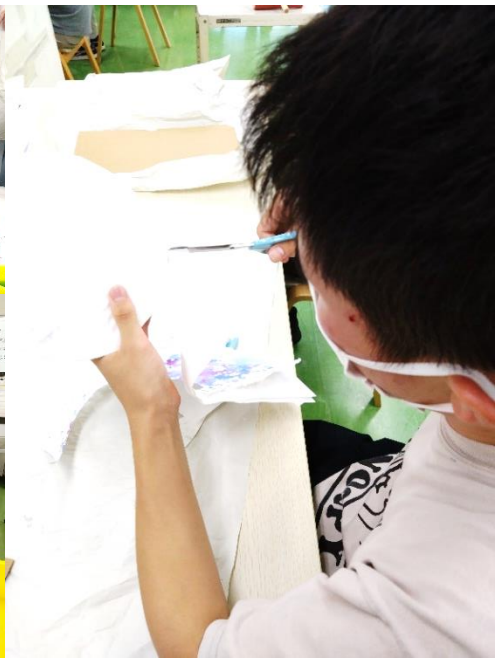
SSKS

せんかわだより

～あるがままに　あたりまえに～

2024．11月号
No．568

充実した毎日をすごすために



武蔵野千川福祉会の生活介護事業所では、さまざまな創作的活動にとりくんでいます。ワークイン中町では、７月、８月にかけて「うちわ制作」を行いました。牛乳パックを細かくちぎるところからはじめ、ペットボトルに入れ、音楽に合わせて振る、その後は、紙すき、色付け、型取りと進めました。

一つひとつの工程を楽しみつつ、完成したあとは自身が制作したうちわで扇ぎながらみんなで花火大会の映像を見てすごしました。

活動を通して、利用者の社会参加や、興味関心の幅を拡げていき、生活の充実を図ることを生活介護事業所ではめざしています。

社会福祉法人 武蔵野千川福祉会
http://www.musashino-senkawa.com

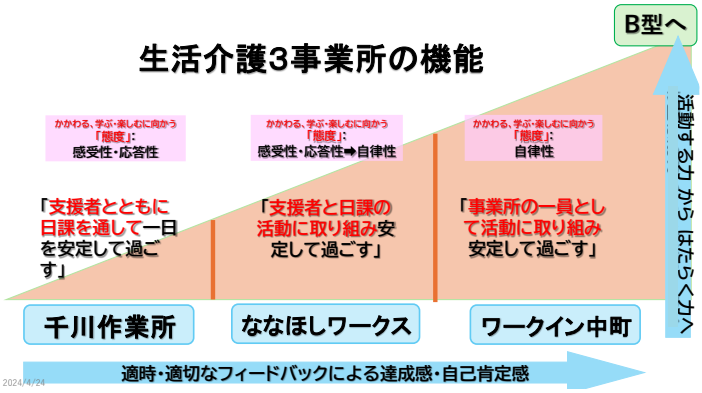
1995 年 8 月 10 日第 3 種郵便物認可（毎週 1 回水曜日発行）
2024 年 10 月 29 日　増刊通巻 9122 号

選ばれるプログラムづくりに向けて
～安定した地域生活を支える活動の提供～

令和５年度より、利用者の安定した地域生活を支えていくことを念頭に、武蔵野千川福祉会として生活介護事業の中期計画を「選ばれる日課プログラムづくり」として策定しました。これまでは、生産活動中心の日課プログラムになっていましたが、職員研修等で障害者総合支援法や生活介護事業の在り方を学び、創作的活動を中心とする事業内容に転換してきています。

「障害者総合支援法」において、生活介護事業所は①創作的活動、②生産活動、③身体機能や生活能力向上のために必要な支援（活動）をバランスよく提供することが挙げられています。この活動を軸にしながら、現在、当法人として利用者に合った、地域の状況に合った生活介護事業の特色を出していくことが課題となっています。

そのため、各事業所で日課プログラム（スケジュール）における各活動の提供割合を算出し、それぞれの機能にあった活動に組み換え、展開できるよう改善しています。利用者がさまざまな活動を通して、毎日通いたいと思えること、自身の成長を感じ、日々、自己肯定感を得ることのできる活動を提供することで、利用者・利用者家族に選んでいただける事業内容になっていくのではないかと考えています。



【生活介護事業所のめざすこと 】

利用者支援で大切にしていること

生活介護事業所では利用者支援において大切にしていることが３つあります。まず「利用者が安定してすごすことができる」ことです。そのためには、各利用者の特性への配慮、特徴を生かした環境設定が重要になります。また、健康状態を把握するため、毎日バイタルチェックを行なうことで、その日の状態を必ず確認しています。

次に「利用者が職員のはたらきかけに応じることができる」ことです。重要なのは利用者と職員が互いに尊重する関係性を築くことだと考えています。例えば、利用者の気分の浮き沈みに応じたり、その気持ちを汲み取った働きかけができるかどうかが重要であると考えます。職員はそのようなかかわり方を続け、まずは職員自身を知ってもらいます。利用者が“この職員の働きかけであれば大丈夫だ”と思える関係性をつくることで、職員のはたらきかけに応じることができる関係になると思われます。

３つ目は「利用者が活動に参加し、その活動にとりくむことができる」ことです。活動を通して、利用者はできる、できたという達成感、職員は適宜適切なフィードバックをくり返し与えることで、利用者の興味関心の幅を拡げていき、生活の充実を図ることがねらいです。

生活介護事業所における利用者支援では、以上の３つを大切に支援しています。現在とりくんでいる活動の内容について一部紹介します。

1995 年 8 月 10 日第 3 種郵便物認可（毎週 1 回水曜日発行）
2024 年 10 月 29 日　増刊通巻 9122 号

活動紹介　～生活の充実に向けて～

【課題にとりくむ姿勢を大切にしています】

身体機能や生活能力向上のために必要な支援（活動）を紹介します。ワークイン中町では「学習」を取り入れ、現在は週２日、生活学習と課題学習に分け、活動を展開しています。生活学習では、身近な生活課題を題材にし、約１カ月の間、同様の題材を学んでいきます。梅雨の時期には「傘の差し方、たたみ方」を学びました。周囲に人がいるときはどのようにするか、自身が濡れないためにはどのように差すか、たたむかなど職員が手本を見せ、利用者に実演してもらいました。注目を浴びているからか、想定していた以上にできていた点が印象的でした。どの学習活動についても共通として、異なった環境下でも応用できるかが最終的な目標となっています。課題学習では、個々の能力に合わせたグループ分けを行い、プリントを使って学習しています。職員の説明を聞く、名前を書く、問題にとりくむ、評価を受けることをくり返します。間違いがあっても、もう一度職員と考え答えを導くよう支援しています。〇をもらえることがうれしいようで、毎週楽しみながら学ぶことができています。

【講師の先生を手本に楽しく運動！】

ななほしワークスでは、東京都主催の令和６年度障害児・者の運動習慣定着支援事業に選考され、年間計６回のプログラムを実施することになりました。事業所内、体育館等での運動を通じて、運動習慣の定着をめざします。運動プログラム実施のサポートに職員が携わることにより、運動指導のポイント等を職員が習得できる機会となっています。事業は１年で終了となるので、運動指導のポイントや展開の仕方を職員が習得し、いかに次年度に活かすことができるかが重要となります。第１回、第２回と終了し活動の様子を録画し、生活介護事業所で共有を図りながら進めています。

【ブロッコリーを丁寧に植えています】

また、今年度９月より千川作業所を含む３事業所共通で行なっている創作的活動として、月に１回ずつ、地域の農家のご厚意による農作業体験があります。大根の種やブロッコリーの種を蒔き、水やりなどにとりくんでいます。他の活動では集中力が途切れてしまうことがある方も今まで見たことのない集中力で暑さに負けることなく継続して参加することができていました。利用者の新たな一面を見ることができるということも、多種多様な活動を提供する良さかもしれません。今後も作物の成長を観察するとともに、収穫などにも参加する予定です。

今後の展望

このように生活介護事業所は、あらゆる活動を通して、利用者の興味関心の幅をひろげていき、生活の充実を図ることに着手できるようになりつつあります。今後はさらに計画的に活動を組み立て、内容を充実させていき、利用者の安定した地域生活に向けた「選ばれる日課プログラムづくり」を進めていきます。

（文責：金田　大志）

1995 年 8 月 10 日第 3 種郵便物認可（毎週 1 回水曜日発行）
2024 年 10 月 29 日　増刊通巻 9122 号

支える人を
支える募金

第７８回　赤い羽根共同募金のお知らせ

共同募金は、戦後間もないころから、市民が主体の民間運動として始まりました。社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決にとりくむ民間団体を応援する、「じぶんの町をよくするしくみ。」としてとりくまれています。

令和6年１０月１日～令和7年3月３１日

【とぴっくす】～インスタだより vol.１７～　ウォーキングを再開しました

千川作業所の近くには武蔵野中央公園や MUFG PARK などウォーキングに適した場所がいくつかあります。

歩くペースに合わせて班分けし、季節の花を観賞したり、ボール遊びをしたり、休憩をはさみながら、それぞれ１時間～1 時間半ほど歩きます。

ようやく猛暑も落ち着いてきたので、今月から再開しました。

今月の動向　～令和６年１０月～

７日(月)さくらんぼ学習会
　　常任理事会
９日(水)慶光会様見学研修(～11 日)
13 日(日)生涯発達 RSC 研究会
16 日(水)おひさま学習会・生活介護学習会
17・18 日(木・金)武蔵境 WS 旅行
23 日(水)B 型事業所学習会
　　常任理事会
29 日(火)障がい者の就労を考えるつどい 2024
31 日・11 月１日(木・金)八幡作業所旅行

来月の予定　～令和６年１１月～

５日(火)地域生活支援部学習会
7・8 日(木・金)ワークイン中町旅行
13 日(水)さくらんぼ学習会・おひさま学習会
　　常任理事会、生活介護学習会
15 日(金)中間管理職層研修
17 日(日)OCT 講座②
19 日(火)内定式・業務説明会
20 日(水)所長会議
21・22 日(木・金)千川作業所旅行
24 日(日)維雅幸育会様見学研修(～25 日)
27 日(水)B 型事業所学習会、常任理事会
28・29 日(木・金)ななほしワークス旅行

社会福祉法人 武蔵野千川福祉会
http://www.musashino-senkawa.com

＜発行人＞　特定非営利活動法人　障害者団体定期刊行物協会　東京都世田谷区祖師谷3－1－17－102　TEL 03(6277)9611
＜編集人＞　社会福祉法人　武蔵野千川福祉会　東京都武蔵野市境南町４－20－5　TEL 0422(30)0022　定価５０円